

伊勢湾岸地域の海峡横断道路計画に関する利用者意識調査

名城大学 フェロー会員 久保全弘

1. はじめに

伊勢湾岸地域の高規格幹線道路ネットワーク構想¹⁾は、伊勢湾周辺諸都市の広域的・一体的発展に資するため、現況道路網および計画中の広域幹線道路網と有機的に結合させ、湾域全体における調和のとれた広域交通への対処、中心都市の環境整備を兼ねた道路網を形成しようとするものである。この地域では常滑沖に平成17年2月に中部国際空港が開港して陸海空の交通体系が変化したものと推察され、その後の検証が必要である。本報告は伊勢湾岸地域の道路現況と将来計画などについて、中部国際空港開港後における道路利用者の意識調査した結果の概要を述べる。

2. 伊勢湾岸地域の道路ネットワーク構想

伊勢湾岸地域活性化研究会は伊勢湾岸地域の13の諸課題を検討し、伊勢湾口道路(渥美半島～伊勢)、伊勢湾横断道路(常滑～鈴鹿)、三河湾口道路(渥美半島～知多半島)の3つの道路整備計画案について図1に示す道路ネットワークの有効性を定性的に評価しまとめている¹⁾。これらの海峡横断道路は、現在計画されている高規格幹線道路によるネットワークと連携させることによって、伊勢湾岸地域の交通問題を解決する役割を果たすとされている。



図1 伊勢湾地域の道路ネットワーク

3. 伊勢湾岸地域の交通問題¹⁾

名古屋を中心とした伊勢湾地域では、内外の交通量が集中することに重なり、自動車への依存度が高いことから、他の地域と比較して渋滞が問題となっている。そして、これに伴い主要都市の連携が困難となっている。

また、中部国際空港の開港後、空港へのアクセスの観点から中部地区の道路網を捉えた場合、知多中央道路への負担が大きく、国際空港でありながら、他の国際空港と違って隣接県の中心都市から長い所要時間が必要であり、さらに近隣地域からのアクセスビリティについても危惧されている。

さらに、現在警戒されている大地震などの不測事態により、東名・名神高速道路が通行止めとなった場合、それらの8割の利用者は国道1号線や国道23号線などの一般道路あるいは北陸道経由の利用を余儀なくされ、輸送時間の増大などの経済活動に多大な影響を及ぼすものと予測される。

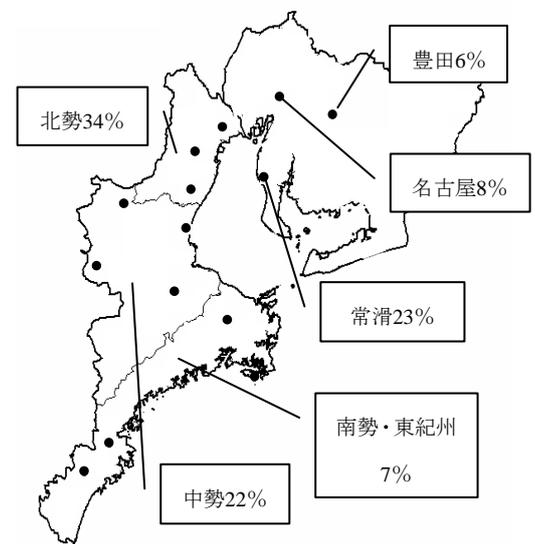


図2 回答者の地域的属性

4. アンケート調査

今回のアンケート調査は伊勢湾岸地域の道路利用者として愛知県と三重県に在る運送会社を対象に調査票を郵送して行なった。全部で1000通のアンケート依頼を郵送して300通の回答を得た。回答者の属性は、会社の拠点が愛知県37%、三重県63%であり、図2のように伊勢湾を囲む地域に分散している。回答者のうち83%が毎日運転し、9%が週3回程度運転すると回答している。目的地は中部地方35%、東京方面27%、関西方面19%、知多方面13%、その他7%であり、運搬物(自動車・自動車部品20%、精密・電子部品19%、

衣料・食料品 16%, 土木資材 13%, 燃料 6%, 郵便・配達便 5%, 工業製品 5%, 雑貨 5%, その他 11%) を輸送している業者である。調査項目は、大別すると①現在の道路整備状況, ②中部国際空港開港後の道路事情, ③海峡横断道路計画についてであり, 細かくは 20 項目からなる。

5. 調査結果

- Q1. 中部国際空港の開港に伴い, 中部圏の利便性は向上したと思いますか?
- Q2. 空港付近の道路ネットワークに満足していますか?
- Q3. 新たな道路の必要性を感じますか?

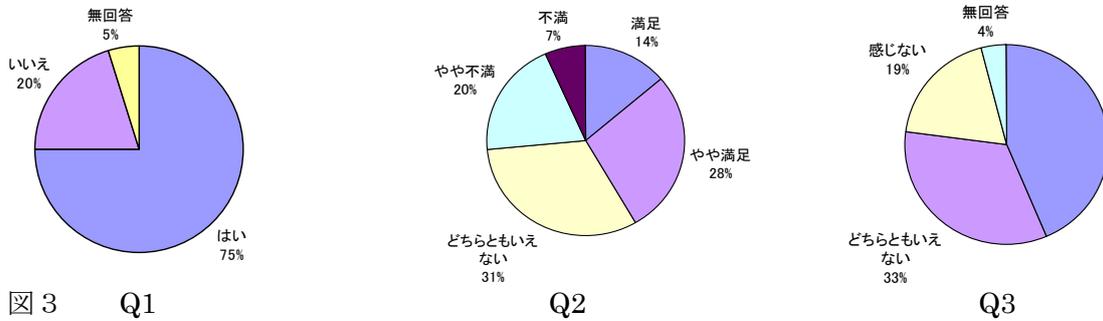


図 3 Q1

Q2

Q3

空港の開港によって中部圏の利便性は向上したと 75%が回答しているが, 空港付近の道路ネットワークには「やや不満」と「やや満足」を合わせて 42%にとどまっている。そして, 新たな道路の必要性を 44%が感じている。ただし, Q2, Q3 では「どちらともいえない」が 30%あり, 一概に評価できないと思われる。

- Q4. 伊勢湾に 3 つの海峡横断道路の建設計画が提案されていることを知っていますか?

図 4 に示すように, 計画検討の開始が早い伊勢湾口道路の認知度が高く, 具体的な検討がほとんどされていない三河湾口道路で認知度が低い。また, 地方別では, 南勢・東紀州で伊勢湾口道路の認知度が高く, 中勢では伊勢湾横断道路の認知度が高い。三河湾口道路では, 常滑と名古屋で認知度が高かった。

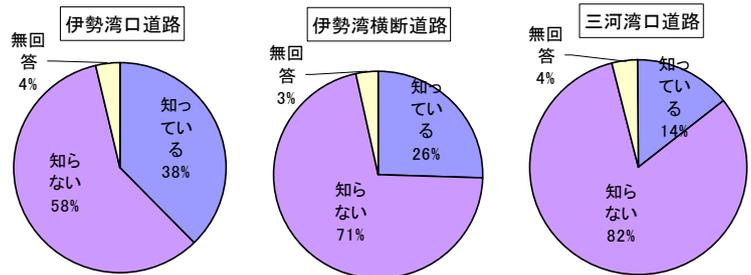


図 4 Q4

- Q5. 伊勢湾に下記の横断道路が必要だと思いますか?

- Q6. 建設するにあたっての優先順位は?

図 5 に示すように, 伊勢湾横断道路が一番必要性が高く 67%, 伊勢湾口道路が 58%, 三河湾口道路が 35%にとどまった。

建設する場合に優先してほしい順位は図 6 のように, 伊勢湾横断道路への要望が高く, 伊勢湾口道路・三河湾口道路の順である。

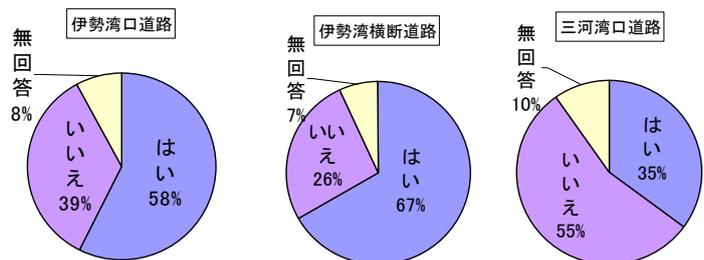


図 5 Q5

6. あとがき

わが国では明石海峡大橋が完成して 10 年が経過し, その後の経済情勢の変化によって海峡横断道路計画の具体化が進展していないが, 継承しないと技術は廃ることから, 実現を夢見ている一人である。今回のアンケート調査は平成 17 年 10 月に実施したものであり, 卒業研究として協力をいただいた垣内仁志氏と森田梓氏に感謝いたします。

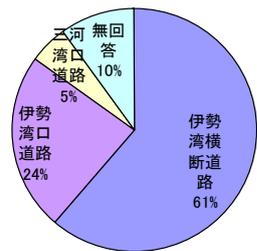


図 6 Q6

参考文献

- 1) 海峡横断道路調査会: 会報 No.56 (平成 15 年 10 月), No.58(平成 16 年 4 月), No.62(平成 17 年 4 月).